

AtoMを使ってデータベースをつくる

AtoM (Access to Memory) とは、2000年代の初めに国際アーカイブズ評議会 (ICA) が開発を始め、現在、カナダの Artefactual Systems 社が継続的に更新しているオープンソースのフリーアプリケーションである。ICA が公開している国際的な記述標準に準拠し、日本語にも対応していることから、近年では日本国内でもデータベースの構築における導入例が報告されている。データベースの構築は、文書館などのアーカイブズ機関では必須の業務であるが、新たに導入するためには費用がかかり、さらには運用の維持も考慮しなければならない。AtoMの導入は、そのような課題に対する一つの対処法ともなり得る。一方で、公的機関におけるオープンソースの導入方法や、職員の負担の面から課題も想定できる。本研究会では、実際にAtoMを使用してデータベースを構築している実践例を報告いただき、その方法や課題について情報を共有する。

- 日時 令和4年7月22日 (金)
14時00分から17時00分まで (受付開始13時30分)
- 方法 Zoom ミーティングを利用したオンライン開催 定員90名 (先着順)
- 日程
13:30 参加者入室
14:00~14:15 開会挨拶、趣旨説明と報告者紹介
14:15~15:00 報告1「渋沢栄一記念財団の事例報告 AtoM の概要」
金 甫 榮 氏 (公益財団法人 渋沢栄一記念財団)
15:00~15:45 報告2「国立近現代建築資料館における事例報告」
田良島 哲 氏 (文化庁国立近現代建築資料館)
15:45~15:55 休憩
15:55~16:55 質疑応答・議論
16:55~17:00 次回告知・事務連絡
17:00 定例研究会終了
- 申込み 別紙申込書に必要事項を御記入の上、7月1日 (金) までに下記事務局あて電子メールにてお申し込みください。 その際、Zoom エントリーID 返信用のメールアドレスを必ず御記入ください。
- その他
 - オンラインでの開催にあたり、録音・録画、荒らし行為を禁止いたします。
 - 主催者側は、本会の記録・保存のために録画いたします。
 - 参加者は、カメラをOFF、マイクをミュートに設定してください。

全史料協関東部会事務局 (埼玉県立文書館内)
埼玉県さいたま市浦和区高砂 4-3-18
TEL : 048-865-0112 (代表)
E-mail : jimukyoku@jsai-kanto.jp